

○5月24日(土)調査結果の報告

天候:くもり 気温:17.7℃

	水温	水質 (PH/COD)	透視度	網キラーで捕れた生き物
地点①	19.2℃	6.0/8	82.5cm	アメリカザリガニ 4 匹・スジエビ 9 匹・エビノコバン 3 匹
地点②	19.8℃	6.0/8	82.5cm	アメリカザリガニ 3 匹・スジエビ 4 匹・クロダハゼ 3 匹
地点③	19.6℃	6.5/8	86.0cm	アメリカザリガニ 6 匹・スジエビ 3 匹・クロダハゼ 1 匹・エビノコバン 2 匹
地点④				アメリカザリガニ 2 匹・スジエビ 10 匹・クロダハゼ 2 匹・エビノコバン 2 匹
地点⑤	19.7℃	6.5/8	83.0cm	アメリカザリガニ 1 匹・スジエビ 1 匹・エビノコバン 1 匹・クロダハゼ 2 匹

※地点 4 は、地形上沼水の採取が不可能なため、生き物のみの調査。

※水質調査は、「誰でもどこでもできる水質測定パックテスト」(共立理化学研究所監修)を使用。
COD は低濃度対応のもの。

※透視度計は、高さ 1m でケニス株式会社監修のものを使用。

-考察-

- ・気温・水温共に先月より約 2～3℃上昇し、生き物の中でも確認出来るアメリカザリガニの数が特に増加した。
- ・PH はやや低い数値であったが、生き物が暮らせる中性数値を保っていた。COD は高い数値を示しており、魚類のエサとなる植物プランクトンが多くいる状態で保たれていると思われる。透明度は全体的に高く一定の数値を保っていた。